

野球 第99回全国高校野球選手権滋賀大会

準々決勝 彦根東 8—1 八幡商業

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	R
彦根東	5	2	0	0	0	0	1	8
八幡商業	1	0	0	0	0	0	0	1



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

▶相手打線を無失点に抑えた松井君



▲先発として出場した原君



7月23日に県立彦根球場で第99回全国高等学校野球選手権滋賀大会準々決勝が開かれた。本校は八幡商業高校と対戦し7回コールドで8-1で勝利し、昨年の秋季大会の雪辱を果たす結果となった。

7回コールド  
秋季大会の雪辱果たす

本校は1回表2アウトで3番の高村真湖人君(3-8)がレフト前安打を放ち、1塁に出塁した。それを皮切りに4番の岩本道徳君(3-5)が四球で出塁し、5番の辻山知志君(3-6)のセンター前安打で1得点を挙げた。さらに6番の吉本孝祐君(3-4)が適時二塁打で得点を重ね、続く7番の條野正宗君(3-7)がレフト前安打を放ち、8番の朝日晴人君(2-4)が2打点を加えた。

しかし1回裏に3安打を浴び、1点を許した。2回表では1番の原晟也君(3-8)がレフト前安打を放ち1塁に出塁、3番の高村君の2塁打と相手投手の暴投で1点を追加し、さらに4番の岩本君の犠牲フライで1得点を挙げた。その後は均衡状態が続いたが、7回表に7番の條野君の単打と続く代打の仲川俊哉君(3-5)の四死で一・二塁となり、1番の原君のレフト前安打で満塁となった。そして2番の太田剛志君(3-6)による犠牲フライで1得点を挙げ、7回コールドで勝利した。

先発として出場した原功征君(2-8)は今回の試合を「滋賀学園戦では増居君が良いピッチングをしてくれたので、次は自分も頑張ろうと思った。今回の試合はとても良いムードだった」と振り返った。5回裏に投手として途中出場した主将の松井拓真君(3-5)は相手打線を無失点で抑えたことについて「前回に引き続き今回も無失点で抑えたいと思ったのでよかった。今回は直球が決まらなかった。変化球で勝負した」と述べた。先制点を放った辻山君は「ベンチ入りの3年生が相手投手の研究をしてくれたおかげで打てた」と顔をほころばせた。監督の村中隆之先生は昨年の秋季大会の雪辱を果たしたことに關して「1年間ずっと悔しい気持ちを背負って練習してきた。これまでやってきたことが間違っていないから」ということが改めて確認できてよかった」と笑顔を見せられた。



▲二塁打を放った朝日君